

## 平成18年産4麦の作付面積 (埼玉県)

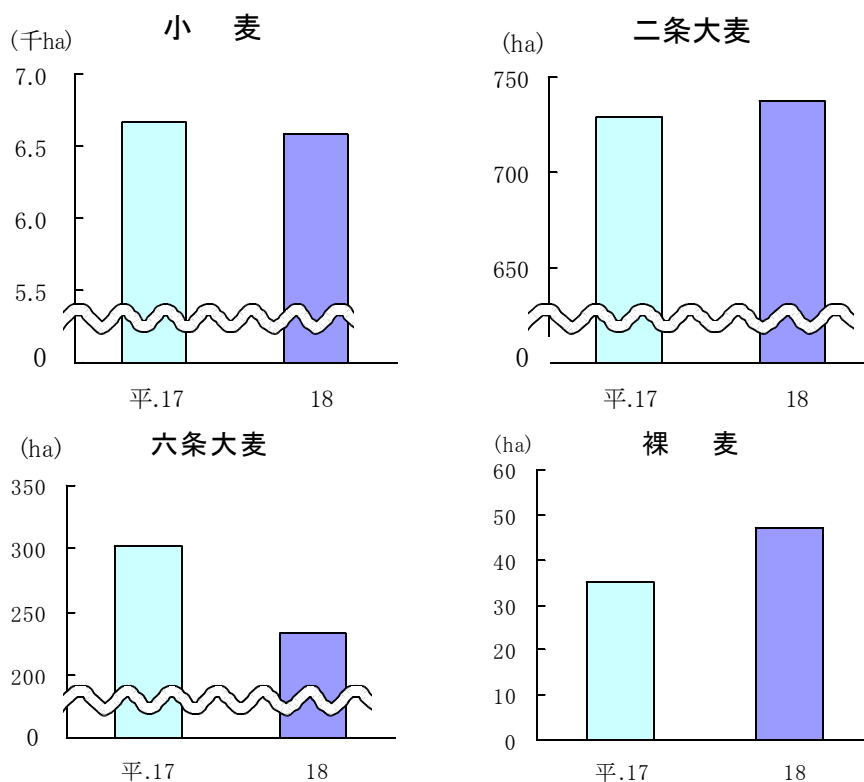
～4麦の作付面積は、前年産に比べて130ha減少～

### 【調査結果の概要】

埼玉県における平成18年産4麦の作付面積は7,590haで、前年産に比べて130ha(2%)減少した。

これは、作付面積の9割を占める小麦が6,580haで、前年産に比べ80ha減少したことなどによる。

4麦の作付面積の推移



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。【[http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0601yonbaku\\_s/yonbaku\\_s.xls](http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0601yonbaku_s/yonbaku_s.xls)】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P3に掲載しています。

## 【解 説】

### 1 小 麦

平成18年産小麦の作付面積は6,580haで、前年産に比べて80ha(1%)減少した。

これは、労力事情（高齢化・田植えの早期化）等による規模縮小、作付け中止があったためである。なお、一部地域で六条大麦からの麦種転換による作付け増がみられたものの、一方では二条大麦への麦種転換による作付け減がみられた。

### 2 二条大麦

平成18年産二条大麦の作付面積は738haで、前年産に比べて9ha(1%)増加した。

これは、労力事情等による規模縮小、作付け中止がみられたものの、一部地域で小麦からの麦種転換があったことや、規模拡大した農家があったためである。

### 3 六条大麦

平成18年産六条大麦の作付面積は233haで、前年産に比べて69ha(23%)減少した。

これは、麦茶加工用の契約栽培の減少等から小麦への麦種転換が行われたためである。

### 4 裸 麦

平成18年産裸麦の作付面積は47haで、前年産に比べて12ha(34%)増加した。

これは、労力事情等による規模縮小があったものの、一部地域において契約栽培による大規模農家の作付け増があったためである。

## 4 麦 の 作 付 面 積 ( 埼 玉 県 )

区 分	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年比較		作 付 面 積	前年比較		作 付 面 積	前年比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
4 麦 計	7 590	△ 130	98	6 080	△ 50	99	1 520	△ 80	95
小 麦	6 580	△ 80	99	5 140	△ 70	99	1 430	△ 20	99
二条大麦	738	9	101	688	10	102	50	△ 1	98
六条大麦	233	△ 69	77	199	△ 12	94	34	△ 57	37
裸 麦	47	12	134	47	13	138	0	△ 1	0

## 【関連するデータ、情報】

### 累年統計表〔4麦の作付面積（埼玉県）〕

#### 1 畑計

単位:ha

区 分	計	小 麦	二条大麦	六条大麦	裸 麦
平. 13	7 920	6 770	775	348	27
14	8 000	6 820	700	396	86
15	8 100	6 940	669	441	54
16	8 010	6 850	723	397	43
17	7 720	6 660	729	302	35
18(概数)	7 590	6 580	738	233	47

#### 2 田

単位:ha

区 分	計	小 麦	二条大麦	六条大麦	裸 麦
平. 13	6 250	5 240	700	278	27
14	6 370	5 340	650	295	85
15	6 450	5 430	640	322	53
16	6 330	5 320	683	281	41
17	6 130	5 210	678	211	34
18(概数)	6 080	5 140	688	199	47

#### 3 畑

単位:ha

区 分	計	小 麦	二条大麦	六条大麦	裸 麦
平. 13	1 670	1 520	75	70	0
14	1 630	1 480	50	101	1
15	1 660	1 510	29	119	1
16	1 690	1 530	40	116	2
17	1 600	1 450	51	91	1
18(概数)	1 520	1 430	50	34	0

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、麦の生産に関する実態を明らかにし、麦作経営安定資金を始めとした新たな麦対策の推進、需給計画の策定や生産対策、「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の検証に資することを目的としている。

### 2 調査の対象

全国の各都府県を対象に調査を行っている。

### 3 調査客体数

- (1) 面接調査：2,425団体等（うち、県内：80団体等）
- (2) 巡回・見積り：1,641市町村（うち、県内：71市町村）

#### 4 調査期間

この調査の作付面積は、おおむね平成17年10月～18年6月の期間内の作付面積であり、平成18年4月1日を基準日として調査を行っている。

#### 5 調査方法

統計・情報センター職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積りによる。

#### 6 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

#### 7 用語の解説

4麦の作付面積とは、子実用の他、青刈り用及びその他用（農作物の保護用、生花用等）を含んだ数値をいう。

#### 8 その他

この資料の数値については概数であり、確定値は追って発刊する『平成18年産関東の作物』に掲載する。

#### 9 統計表の見方等

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原数		4けた (1 000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数(下から)		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	1 234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1 230	123

(2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「0」：単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）

「△」：減少したもの

○ この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】

又は、関東農政局トップページ▶統計データ▶平成18年度

#### 問い合わせ先

##### ◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部 生産流通消費統計課  
生産統計第1係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3629  
(直通) 048 (740) 0062

担当者：飯島 田口

##### ◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613  
(直通) 048 (740) 0575